



宮城県障害者福祉センターキャップハンディ体験メニュー例（令和7年度）



No.	内 容・テーマ	実施形態 会 場	時 間	当事者 講 師	プログラムの内容
1	聞こえないってどんなこと？ （聴覚障がい） ① 口話体験 ・手話のいろいろ ② ゲストティーチャーをお迎えして	クラスごと （教室 可）	4 5 分	○	・身振り・手振り・口話をつかって、ことばを話さないで伝え合いをしてみましょう。 ・「手話」が言語であることを理解しよう。 ・聞こえない人を支援する「道具」を考えてみましょう。 ・手話をやってみよう。 ・ゲストティーチャーと交流しよう。
2	車いすを知ろう（体の不自由な障がい） ① 車椅子や障がいがある方の生活に関心をもつきっかけづくり ② 実際にのってみましょう。	クラスごと （体育館）	4 5 分	○	・車いすのひろげ方・たたみかたに挑戦してみよう。 ・車いすの便利なところ？大変だと思うところは？ ・誰もが暮らしやすい環境について、自分たちができることを探してみよう。
3	見えないってどんなこと？（視覚障がい） ① 目をつかわない（見えない）体験 ② ゲストティーチャーをお迎えして	クラスごと （教室） （多目的ホール）	4 5 分	○	・点字のクイズ・白杖について学ぼう。 ・工夫されている商品（お店にある、共用品紹介）には何がある？ ・Q&A ・ゲストティーチャーをお迎えして交流しよう。 （暮らしの様子や見えない方へのマナーなどのお話と交流活動。） （盲導犬ユーザーをお迎えして、盲導犬との暮らしを知りましょう。）
4	パラリンピックのスポーツをやってみよう！ 障がいの有無にかかわらずみんなで楽しめるユニバーサルスポーツの体験	クラスごと （体育館）			・ボッチャ・ゴールボール・卓球バレー・風船バレーボール ・スティックボール（ルールの工夫・道具の工夫を学ぼう。）
5	工夫された道具・ユニバーサルデザイン体験（きき手を使わない体験等）	クラスごと	4 5 分		・工夫された道具・商品・点字がついた日常品・クイズに挑戦。 ・非利き手体験に挑戦してみよう。
6	ピアノ・マリンバ演奏者との交流	学年 （体育館・多目的ホール）	4 5 分	○	手指欠損、難聴・・・重複障害がある音楽家の方をお招きし、日々の生活の様子やレッスンの苦労をお話いただきながら、ピアノやマリンバの演奏を聴き交流を深めます。
7	福祉センター探検 （福祉センター・体育センター 温水プールの施設見学）	学年 （福祉センター）	4 5 分	○	・福祉センター等の障がいのある方に対応した設備の見学。 ・工夫された道具・商品・点字がついた日常品・クイズに挑戦。 ・非利き手体験・日常にあるユニバーサルデザインの紹介。 ・福祉センター利用者の方のお話をうかがいます。